

1 蒜山の珪藻土層（真庭市蒜山 昭和化学工業(株)）

写真



解説

現在の蒜山盆地は中国山地脊梁部の北側にあたる日本海側に向かう傾斜地であったが、その北側で約90万年前ごろから安山岩質の火山活動が起こり、50万年前頃にはこれが終了して蒜山火山群が形成されて谷となった。このころ新規大山火山活動が起こり谷の出口が凝灰角礫岩で埋められて天然のダム湖（古蒜山湖）が形成された（約50万年前以降）。古蒜山湖では珪藻が繁殖し、季節による繁茂の繰り返して遺骸のラミナがつかられ、これが厚く堆積し珪藻土を作り出した。

提供者 氏名 能美 洋介 所属 岡山理科大学